

# 県P通信

令和7年度 第4号



Mar.2026

## 令和7年度

## 長野県教育委員会と長野県PTA連合会との教育懇談会

11月14日（金）信濃教育会館において、長野県教育委員会と教育懇談会を行いました。

懇談会に先立ち、長野県教育委員会へ質問および要望を提出し、事前にご回答をいただきました。当日は、武田教育長をはじめとして関係各課から代表者の皆様にご出席いただき『先生方の働き方改革を本気で応援する県PTA』～PTAとして共に取り組めること、貢献できること～をテーマに、武田育夫教育長と城村義人会長との会談、昨年度に続きグループ討論会を「えんたくん」を用いて行いました。子どもたちの笑顔のために、先生方と保護者が相互に理解し尊重し合いながら築いていくより良いパートナーシップ実現に向けて、率直で有意義な意見交換を行うことができました。

グループ討論会 テーマ（各グループ5～6人程度）

- 【第1分科会】：教職員と保護者の協働
- 【第2分科会】：教科担任制（小学校）と学年担任制（中学校）
- 【第3分科会】：多様化する子どもたちへの支援（発達障害、外国籍、保護者支援）
- 【第4分科会】：不登校支援（家庭訪問、保護者支援）
- 【第5分科会】：給食と食育
- 【第6分科会】：部活動の地域展開
- 【第7分科会】：PTAの存在意義



ホームページに武田教育長と城村会長の対談が公開されています。ぜひご覧ください。

 [ホームページはこちら](#)



2024年度から引受保険会社がAIG損害保険に変わりました。

**信州子育て応援総合補償制度**  
～大切なお子様のための補償制度～

**長野県PTA連合会安全互助制度**  
～PTA活動を安心して行うために～



 長野県PTA連合会

AIG損害保険株式会社 長野支店  
〒390-0814 松本市本庄1-3-10 松本博労町ビル7階  
Tel: 0263-35-1933  
受付時間：午前9時から午後5時まで（土・日・祝日・年末年始を除く）  
<https://www.aig.co.jp/sonpo>

 AIG損害

# ながの大会



令和7年10月18・19日、多くの方のご協力のもと「ながの大会」を無事開催することができました。大会に参加された方の感想を紹介します。

当日の様子はこちら 

## 全体会基調講演

テレビでよく拝見し、ハッキリとした物言いが爽快な野々村友紀子さんのお話を聞けるとあって、始まる前からとても楽しみにしていました。言いたいことも言えずに弱い自分では損。ストレスもたまるから強くなろうと思ったという野々村さん。「女性は周りの環境に合わせなければならないことも多く、自分の幸せは後回しになりがちだけど、それはどうなのか。自分の幸せを追いかけて楽しく生きている姿を子どもに見せた方がいい」というお話にはとても共感しました。「嫌いな人のことをわざわざ考えるな!」「無理しちゃダメ。誰も助けてくれないと言う前に自分から助けてと言った方がいい」「反抗期の子どもの言動など、本人の意思ではなく成長ホルモンが言わせていること!」「子供の成長ホルモンに対抗して、こっちの女性ホルモンも黙ってない時もありますけどね」と笑う野々村さんのお話はとても楽しく、少し心が軽くなるような素敵な時間でした。



## 全体会研究委嘱発表（長野市立山王小学校PTA）

山王小学校PTAの実践を拝聴し、まず感じたキーワードが『自分が楽しむ』でした。PTA行事だけでなく日常生活においてもさまざまなことが縮小や実施不可になったコロナ禍。その収束を迎えて制限なくできる環境になった今、子どもたち・保護者・地域の方の居場所を作りたいと、さまざまな取り組みを新たに企画した山王小学校PTAのみなさんのエネルギーのもとにあるのが『自ら楽しむ』ことだと感じました。そういう環境こそが、PTAにかかわる人たちの居心地のよさにつながる大きな要因になることがわかりました。自分にできることの中から楽しさを見だし、自分が率先して楽しんで活動する。今後のPTA活動の進め方の大事な示唆をいただきました。

## 第1分科会「地域連携」

「地域連携」をテーマに、学校と地域のつながりについて考える貴重な機会となりました。開会式では、善光寺木遣り保存会と城山小学校木遣りクラブによる木遣りが披露され、受け継がれる伝統を次の世代へつなげていく大切さを感じました。続いて、城山小学校6年生とのグループ討論では、自分のやりたいことについて真剣に意見を交わす姿に、未来への力強さを感じました。茨城県高萩市の秋山コミュニティスクールからは、避難訓練を兼ねたダンボールハウス宿泊体験の発表があり「SMILERINGだって楽しいんだもん」という言葉が印象的でした。牟礼小学校の発表では、地域と協力して通学路の安全確保に取り組み、スキー教室で保護者がインストラクターを務めるなど、地域で学校を支える取り組みが紹介されました。地域の力が子どもたちの学びと成長を支えていることを改めて実感しました。

「食」で学び舎を支える。



## よい食材でたのしい給食

長野県学校給食会は学校教育活動の一貫として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展に努め、学校給食における食育の推進を支援することにより、児童生徒の心身の健全な発達及び広く県民の健全な食生活の実現に寄与することを目的としております。

学校給食物資は、主食と副食がありますが、本会では、主食の原料となるコメや小麦粉を仕入れ、炊飯やパンの加工工場に製造を委託し、県下の各学校へお届けしています。副食については、缶詰、乾物、ハム、冷凍食品などの物資を供給しています。また、食育支援事業として、県産物を活用した献立コンクール、レシピ集の発行、パン審査・品質向上研修会などを実施しています。これまでに、関係機関と共同で、県産物を活用した商品も開発し供給しています。



## 第2分科会「家庭教育（健康・食育）」

第2分科会では『結』明るい未来のために、親も子ども元気に過ごすための食育』をテーマに学びを深めました。最初に、栃木市PTA連合会の大類竜矢さんより「とちぎ未来アシストネット事業（地域学校協働活動）」の実践報告があり、持続可能なPTA活動のあり方について多くの示唆を得ました。続いて、上高井郡市PTA連合会会長の松峯昌男さんから、須坂市立東中学校で行われた自作弁当持参の取り組みについて発表がありました。後半のパネルディスカッションでも、当時の栄養教諭・家庭科教諭に加え、弁当作りを経験した生徒2名も参加し、実践を通して食への関心や家族への感謝が育まれたことが語られました。NPO法人長野県食育協会の田中雅子さんによる講演「親も子ども学びたい『食』の知識」では、社会が大きく変化する中で心身の成長を支える食の重要性、そして食事の場での家族や他者とのコミュニケーションの大切さを学びました。

## 第3分科会「人権教育」

有坂先生は、想像を絶する難病になっても前向きでいる姿がとても素敵だなと感じました。だれでも辛いことはありますがそれを受け止め、自分なりに捉えて頑張っていける人でありたいと改めて思いました。ご自身の立場を人権というテーマに寄せて話してくださったことで、非常に焦点的でわかりやすいお話で、ぜひ子どもと一緒に聴きたいお話でした。何気なく過ごしている日常が全て特別だと気づくことができ、自分一人では生きていけないことにも気づけたことで周りに感謝を常に伝えていかなければと思いました。駐車場や会場案内、受付などで、みなさんの思いが伝わるような、緊張の中にも温かさがある気持ちの良い手作りの運営でした。全てのプログラムが良く考えられていて、野沢小学校の子どもたちの合唱は素晴らしく、涙が出ました。子どもたちの日々の努力と先生方のご指導、保護者のみなさまのサポートがあつての合唱だと思いました。佐久平浅間小学校のお仕事ゼミで発表した子どもの話から、素晴らしい取り組みをされていると感じました。子どもたちにたくさんの可能性を伝え、良い学びを得られる機会だと思います。他校のPTA活動について知ることができて大変参考になりました。

## 第4分科会「組織・運営」

講演会では、信州大学教職職員センターの荒井英治郎先生より『子どもの育ちと学びの mirai のためにPTAのこれからを考える』という演題でお話をお聞きしました。講演内容のうち、特に印象深かった点が2つあります。①PTA活動の根源に立ち返り、誰のための何のための団体なのか問い直すことが今後のあり方につながり、法令遵守と適正化（普段の見直し）が必要であるということ。②『ご機嫌なPTA』による10項目のチェックをしてみる。例えば・・・①入会届・大会届が整備されている②入学説明会や入学式の時に「任意加入」に関する丁寧な説明がなされている③入会・退会に関してきちんと会則に書かれている⑦個別事情（家族・健康上の理由）に「やさしい」対応がなされている⑧ノルマがない・・・かかわりがいいがあつて、かかわりやすい活動を、それぞれの学校がおかれている状況を鑑みながら多くの意見を交わして考えていくことができれば、PTA存続の危機は回避されるのではないのでしょうか。



## 第5分科会「学校教育・地域連携」

講師の長野大学の早坂淳先生は、研究発表に合わせて事前に内容を把握されており、その内容を関連付けて講義をしてくださいました。とても素晴らしいと感じました。また、自分自身の人生も考えさせられる内容で「なるほど」と思うことがたくさんありました。PTAの意義や存在についてはいろいろな意見や考え方がありますが、一人ひとりが自分で考え、気づき、お互いをリスペクトしあつて活動することができたらいいと思います。PTAの意義の一つは「橋を架ける」ことである。という言葉が心に残りました。また、ウェルビーイングについて、子どもより先に大人が自ら学び、実践していくことが「こどもまんなか」につながると感じました。4つのPTAからの発表は、PTAによってやり方や考え方は違いますが保護者として子どもたちと学校を盛り上げていきたいという気持ちは一緒です。自分たちのPTAで、他校の話参考にさせていただきたいと思います。どこのPTAも頑張っていると感じ、勇気をいただきました。特に聖南中学校の大人と生徒さんたちの発表は心に残りました。これからも聖南中学校のどっこい清掃の伝統は、ぜひ継承していただきたいです。

### 第6分科会「広報活動・IT」

ながの大会は、さすが！教育県をアピールしている素晴らしい長野県！と感嘆する大会でした。内容盛りだくさんで、諏訪の「すわっちゃオ」でいすわっちゃオ！してきました。川崎小学校の153日間の寄付で校庭遊具を設置した事例は、寄付が1000万円強集まった驚異的な金額にビックリしました。現職教員を2人入れたトークセッションで、クラス運営の仕方など発見が見つかるような仕掛けで前向きな感じでまとまっていたと思います。広報誌のペーパーレス化にチャレンジした事例では、いま流行りのCanvaを使った広報誌の作り方を発表していました。無料と仰っていましたが、これは無料？と思うほどの情報を一元化した説明でした。最後にグループディスカッションを21のグループで行いました。教職員が40人近く参加されていて、山梨県・諏訪・茅野・岡谷などの先生方が来ており、小学生・中学生・高校生の子どもたちも参加していました。テーマは「どんなクラスがいいですか？」でした。神奈川のメンバーも各グループに分かれて参加し、私は山梨県の小学校教頭先生・山梨県の小学校PTA会長さん・岡谷市の小学校PTA会長さんのグループでディスカッションし「安心な笑顔あふれる楽しいクラス」と結論付けました！さまざまな意見が出たのですが、子どもたちに伝わらないと意味ナシとシンプルな形にまとまりました。シンプルが簡単なのですが、内容の深さを児童生徒・保護者・教職員の中で相互理解をして社会性をみんなで学んでいきましょう！となりました。最後に代表発表させていただき充実した時間でした。

### 第7分科会「部活動の地域移行」

今「部活動の地域移行」から「地域展開」へと表現が変わってきています。子どもたちの将来のために、地域や大人たちは何ができるか、何をすべきか、部活動の地域展開の実情と問題点を地域展開の事例などから学んでいきました。講師や発表者の方々のパネルディスカッションやグループトークも時間が足りないくらい盛り上がりました。私は「小さな完成された器ではなく、未完成でも大きな器を育てていく機会に。長所を伸ばし、大きな器へと育てていく」という言葉が印象に残りました。地域によって課題はさまざまであり、正解はないですが、それぞれの地域の強みを活かし、補いながら最適解を出せるよう、子どもたちを真ん中において地域展開を目指していけると、豊かな文化やスポーツに自由に触れることができるのではないかと考えさせられました。課題もあります。みんなで地域展開を楽しんでいきましょう。

### 全体会パネルディスカッション

「子どもたちと地域のウェルビーイングの実現に向けて」と題されたパネルディスカッションを聴講しました。まず、学校生活におけるウェルビーイングを高めるための各校の特色ある取り組みが紹介されました。北御牧中の「煌翼（こうよく）」をテーマにした「ありがとう掲示板」は感謝を可視化する活動、根羽学園の「連繫（れんけい）」のもとでの「バースデーバッジ」や「ベストショット」活動は生徒間のつながりを深める工夫、そして伊那市立東部中執行部への「デジタル質問箱DX」は生徒の声を反映する仕組みとして印象的でした。武田教育長からのメッセージが心に響きました。大人がなってほしい人間像と「子どもがなりたい人間像」の違いを認め、そのうえで「子どもが子どもらしくいられる学校づくりを目指す」という言葉は、子ども主体の教育への強い決意を示すもので、心強く感じました。城村会長からは、地域とのかかわり方として子どもたちとともに地域活動に参画し、地域とともに育てていくことの大切さという発信がありました。また、PTA活動において「役員がすべての責任を負うのではなく、関心のある人が分担しながら少しずつつかかわれるシステム」こそが、地域のウェルビーイングを高めるという提言に、とても共感しました。

信州の牧草を食べて  
信州の酪農家の愛情いっぱいに育った牛の牛乳を  
信州の人が飲んで育つ  
わたしはメイドイン信州ー信州100%



わたしはメイドイン信州

# ～先生ありがとうメッセージコンクール～

## 審査結果

「教職員の働き方改革を本気で応援するPTA」として、本年度初めて～先生ありがとうメッセージコンクール～を行いました。いつも見守ってくれる先生へ普段なかなか言えない感謝の気持ちを伝えました。  
全153点のメッセージが寄せられ、優秀賞3点と優良賞24点が選ばれました。優秀賞の作品を紹介します。

### 県知事賞

塩尻市立洗馬小学校 5年生

先生ってね いつも全力  
怒るときも 笑うときも  
遊ぶときも ふざけるときも

先生のおかげで 学校楽しいよ  
いつもありがとう  
これからもよろしくね



### 長野県 PTA 連合会賞

伊那市立西春近南小学校 一般

#### 【保護者懇談会】

学校での様子、学習面、おともだちとの関わり。娘の話をもとにし、先生が最後に「お母さん、いつもがんばってますね」と。教室を出た途端、涙ぶわっとあふれちゃって。先生の温かな言葉に救われました。ありがとうございます。

### 県教育 委員会賞

長野市立更北中学校 2年生

分かってる 叱るところも 優しさで  
未来のことを 見てるんだって



### 第36回 広報紙コンクールの 作品を募集します!

皆さんの学校の広報紙をコンクールに応募してみませんか?  
令和7年4月から令和8年3月発行の広報紙が対象です。  
印刷物は各号**6部**づつ、WEB版はデータでの応募となります。  
募集期間は令和8年3月末まで!

他の学校はどうやって作っているの?  
広報紙って何を載せたらいいの?

そんな疑問もふくめ、コンクールの詳細は県PTA事務局までお気軽にお問合せください。

問い合わせ先⇒

発行・編集

長野県PTA連合会  
情報発信部

住所  
長野市旭町1098  
信濃教育会館内  
TEL  
026-235-4361

MAIL  
office@pta-naganoken.net

# 信

— Shin —

信州発「信頼」のその先へ

信教印刷株式会社

本社/〒281-0022 長野市大原島津4321 電話026-222-5222 026-254-1770  
営業所/〒174-0051 東京都豊島区小笠原2丁目20番24号(信印刷株式会社内)  
TEL03-5970-9416 FAX03-5970-9414

<http://shinkyu-p.com/index.html>